

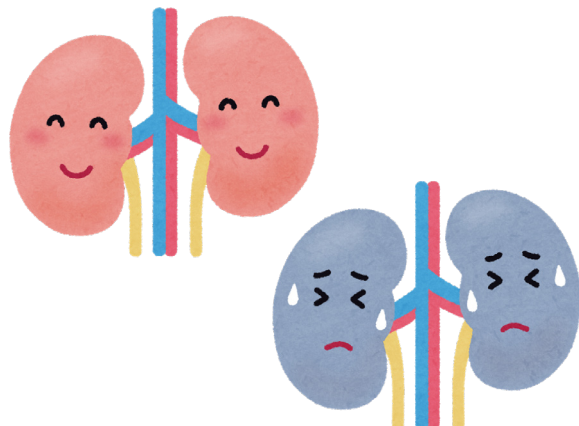
# 腎臓の病気に使用する薬について

内科医長 遠藤 哲也

慢性腎臓病を治す薬というものは、残念ながらまだありません。従って、慢性腎臓病における治療目的は、その進行を遅らせることにあります。進行を遅らせるには、腎機能低下により生じる異常をコントロールする必要があります。ここでは、慢性腎臓病患者さんに使用する主な薬についてお話ししたいと思います。

腎機能低下によって引き起こされる異常には

- ① 水分・ミネラルバランス異常
  - ② 排泄機能の低下
  - ③ 内分泌機能の低下
- があります。

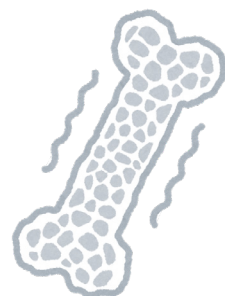


## ① 水分・ミネラルバランス異常

体内の水分コントロールや電解質と呼ばれるミネラルバランス、体内の酸性度に異常を来した結果、高血圧やむくみ、カリウムやリンといった電解質の異常、代謝性アシドーシスを生じることがあります。高血圧は、それ自体が腎機能悪化の増悪因子となるので、血圧コントロールは慢性腎臓病における薬物療法の中で最も重要なものと考えられています。アンジオテンシン変換酵素阻害薬やアンジオテンシン受容体拮抗薬と呼ばれる降圧薬は、単に降圧作用だけでなく腎保護作用があるとされており、使用頻度が高い薬剤です。これらの薬剤でも血圧コントロールが不十分な場合には、カルシウム拮抗薬等ほかの降圧薬も併用します。むくみに対しては、利尿剤という体内の余分な水分をおしっことして排泄する薬剤を使用します。

電解質異常としては、高カリウム血症や高リン血症を来すことがあります。高カリウム血症では、不整脈や四肢脱力といった症状を起こすことがあるので、カリウム吸着薬を使用します。高カリウム血症はほぼ食事が原因ですが、まれに降圧薬や利尿剤の組み合わせで高カリウム血症を来すことがあり、注意が必要です。高リン血症は、骨密度の低下や血管の動脈硬化を生じ

る可能性があります。そこで、食事のリンを結合し体内に吸収されないようにするリン吸着薬が必要となります。数種類のリン吸着薬がありますが、便秘や血液中のカルシウム濃度上昇等を来す可能性があり、薬の選択に注意が必要になります。代謝性アシドーシスは、腎機能低下により体内のアルカリを保持する重炭酸という物質の濃度が低下するため、体内が酸に傾きます。吐き気や疲労感といった症状が出現するため、これを防ぐため重曹を使用することがあります。



## ② 排泄機能の低下

腎機能低下に伴い、様々な尿毒素が体内に蓄積します。その蓄積は更に腎臓の負担となるため、蓄積した尿毒素を排泄する薬が必要となります。クレメジンという薬は、特殊な活性炭を薬にしたもので、腸の中で色々な物質を吸着します。この薬は、尿毒素だけでなく同時に服用した他の薬も吸着する可能性があるため、食事や他の薬を服用してから少なくとも30分以上時間をずらして服用する必要があります。また、他の薬と比較して一度に服薬する量が多いのが難点です。



(次頁につづく)